

第3回北海道食の安全・安心委員会における「北海道食品ロス削減計画(案)」に係る各委員意見

項 目	ご 意 見	委員
第1章 1計画策定 の背景・趣 旨等	<p>◎「食品ロス削減」の必要性や意義をもう少し明確に記す。 (2019)「食品ロス削減推進法」の前文には「世界には栄養不足の人が多数存在する中で、我が国は大量の食料を輸入しており、それでありながら大量の食料が捨てられている。世界の食品ロス削減問題に我が国は真摯に取り組むべき」と法の制定趣旨が記されています。 また、(2011)FAOの報告では、世界の飢餓人口が約8億2千万人もあるのに、世界の食品ロスは13億トン/年もある。さらに気候変動や水源の枯渇など近い将来の世界の食料安全保障の課題が示され、食品ロス削減がこれらの問題を緩和するのに役立つと言及している。「食品ロス削減」は世界の課題であり、関心が高まっています。 このような食品ロス削減の意義や必要性をもう少し記した方が理解が深まるのではと考えます。</p>	島山副会長
計画全体	<p>質問等は特にありません。 推進計画に基づき、JAグループ北海道として食品ロス削減に取り組んで参りたい。</p>	矢野委員